

令和6年度 特定健診歯科保健指導 導入事業研修会

名取市 実施状況



カーナくん

事業に参画した理由・背景

- ・ 歯周病の割合が増加する40代以降に対し、歯科保健指導を行う機会が少なかったため
- ・ 歯に関心を持ち、歯周病検診の受診率につなげるため

名取市（R4） 歯周病検診受診率（40歳～70歳） 9.5%
歯周病を有する人の割合 40歳 48.9% 60歳 63.9%

実施にあたり期待した効果

- ・ 歯科保健指導を受けることにより、口腔ケアの状況が改善する
- ・ 定期的に歯科健診を受診する、かかりつけ歯科医をもつことのきっかけづくり

事前準備

令和6年1月

県健康推進課と打合せ

当日の流れ、事業対象者数の確認、事前・事後アンケート調査実施についての説明

令和6年5月

県健康推進課、健診団体、市保健センター 打合せ

会場内(健診の流れが滞らない様に)説明場所、誘導場所などについて確認



令和6年7月上旬

県健康推進課、県歯科医師会、市内歯科医院 歯科医師、県歯科衛生士会、市保健センター打合せ

当日の流れ、口腔チェック・歯科保健指導内容の確認、準備物について

前日

県健康推進課、市保健センターの準備

資材運搬、会場設置、動線確認

実施概要

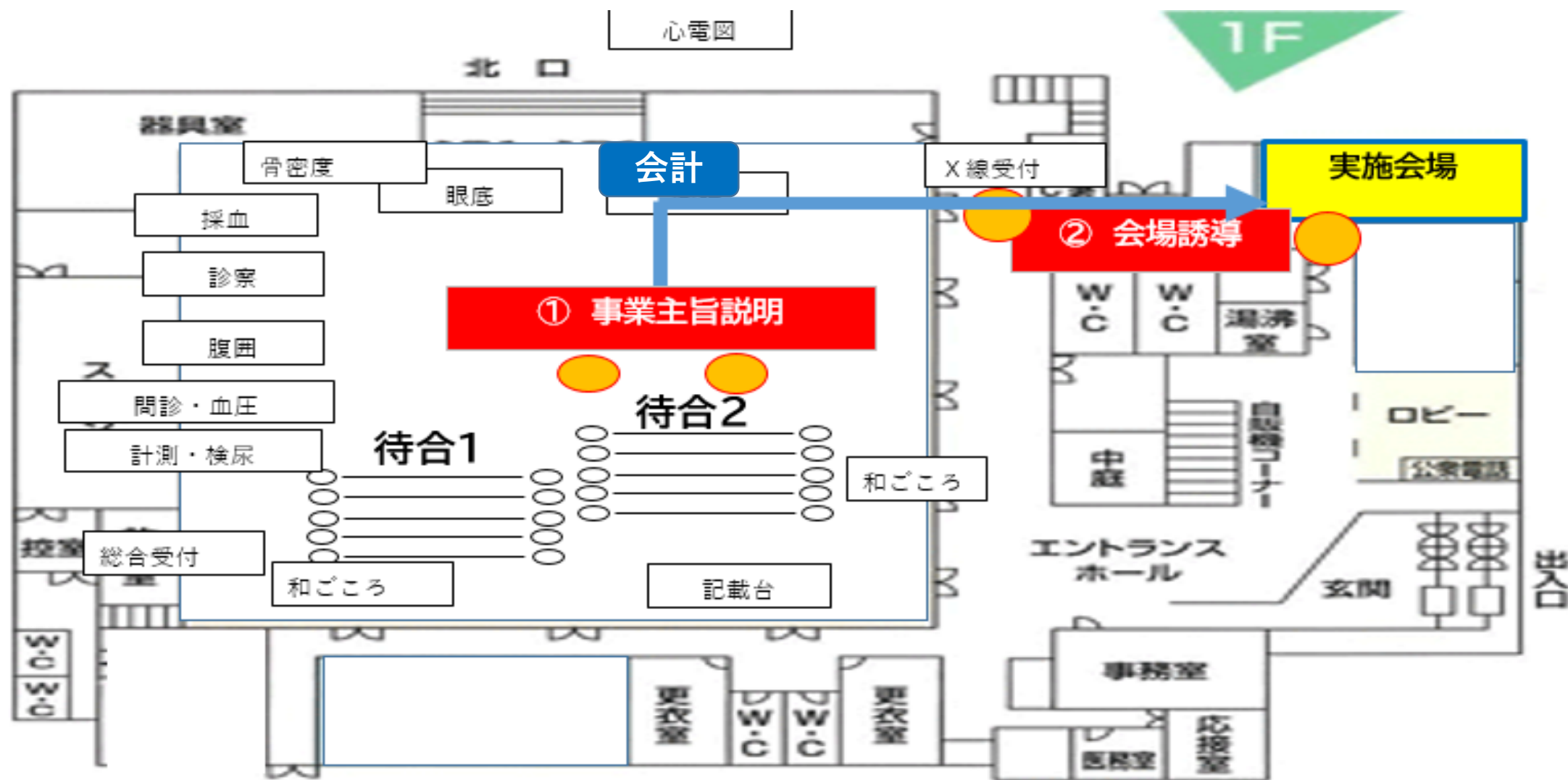
実施日	実施会場	特定健診受診者数 (40～74歳)	事業参加者
令和6年7月24日（水）	名取市民 体育館	201名	38名(18.9%)
7月25日（木）	名取市民 体育館	157名	34名(21.7%)
合計		358名	71名(19.8%)

実施体制

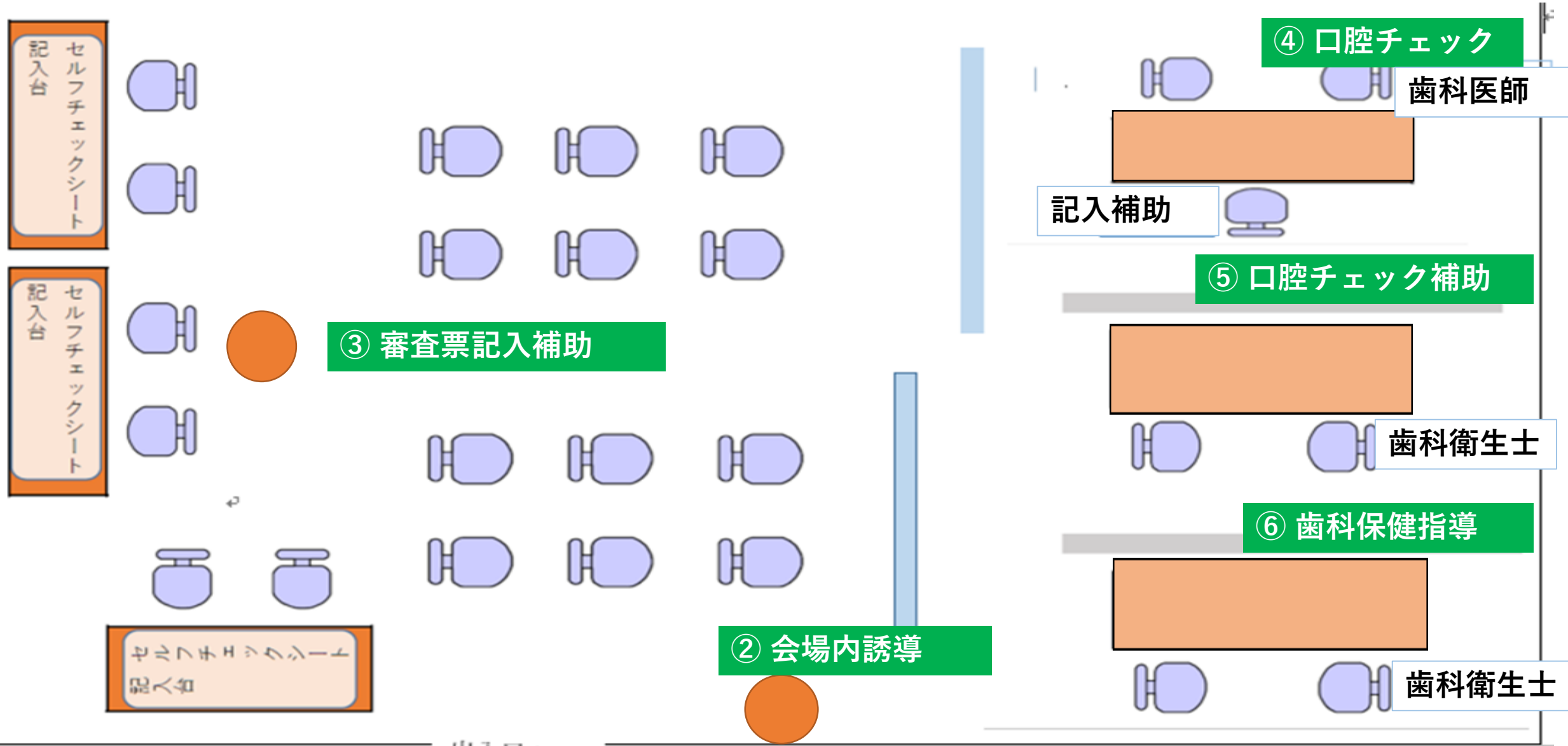
- ① 事業主旨説明 : 2名 (県職員、市職員)
- ② 会場誘導 : 3名 (県職員、市歯科衛生士)
- ③ 審査票記入補助 : 1名 (市歯科衛生士)
- ④ 口腔チェック : 1名 歯科医師 (岩沼歯科医師会より市内歯科医師)
- ⑤ 口腔チェック補助 : 1～2名 (市内歯科医院 歯科衛生士)
- ⑥ 歯科保健指導 : 2名 歯科衛生士 (県歯科衛生士会)



会場図（体育館）



会場図（会議室）



参加者の反応など

- 「久しぶりに歯医者に診てもらい、良いきっかけになった。」
- 「かかりつけ歯科医以外の先生の話聞いて良かった。」
- 「歯科衛生士からの歯みがきの仕方や歯周病について詳しく話を聞いて良かった。」

- 「定期的に歯医者に通っているから大丈夫。」という方が多数おり、モデル事業を受けない方もいた。

→定期的に歯科受診している方が多いと感じた。

アンケートより、かかりつけ医がいる割合

参加者71名中、61名(85.9%) (当日特定健診受診者全体は、未把握)



実施してみて

- 40代以降の方に対し、歯科保健指導を行うことができ
歯に関する健康の普及啓発ができた
- 健康意識が低い人への実施をどうするか
- 当日の事業実施に関する周知
- 定期的に歯科受診している方の事業参加の捉え方
(定期受診者を、事業に積極的に参加するよう促すのか等)



次回実施時に工夫したいこと



- ・ 当日、事業主旨説明で使用するパンフレットを見やすくする
(口腔チェックや歯科保健指導が無料で受けられる等を強調する)
- ・ アンケート内容の精査、実施前後の変化がわかる設問の仕方等を事業実施前に検討する。

